

編集方針

三菱ふそうは、トラック・バスという公共性のある製品を世の中に送り出す企業として当社の環境保全の取り組み、社会活動などをステークホルダー(利害関係者)の皆様に情報開示することを目的に、環境・社会報告書2010を発行します。

報告対象期間

本報告書の対象範囲は、基本的に2009年(2009年1月～2009年12月)とします。ただし、各種法律や業界関連で年度をベースとした取り組みについては、2009年度(2009年4月～2010年3月)の実績データを報告します。

報告対象範囲

主として三菱ふそうの日本国内における環境活動、社会とのかかわりを報告します。環境活動については、企業活動全体を通じた環境負荷の低減実績やその活動について、トラック・バスの開発・設計、調達、生産、物流、販売、廃棄・リサイクルという流れで報告します。

参照ガイドライン

環境省発行の「環境報告ガイドライン(2007年版)」に基づいて掲載内容の充実を図るとともに、分りやすさの向上に努めています。

企業概要

シンボルマーク



- 商号** 三菱ふそうトラック・バス株式会社
Mitsubishi Fuso Truck and Bus Corporation
- 設立** 2003年(平成15年)1月6日
- 本社** 〒212-0058
神奈川県川崎市幸区鹿島田890-12
- 資本金** 200億円
- 主な事業** トラック・バス、産業エンジンなどの開発、設計、製造、販売、輸出入、その他取引業
- 在籍人員** 約14,200名(連結/2009年12月現在)
- 売上高** 4,322億円(2009年1月～12月)
- 販売台数** 国内23,091台/海外79,452台
合計99,543台(2009年1月～12月)
- ホームページアドレス**
<http://www.mitsubishi-fuso.com/>



私たち三菱ふそうトラック・バス株式会社は、すべての人々の暮らしに密接にかかわるトラックやバスを製造販売する会社として、大切な社会や環境、大切なお客様のために何ができるかを常に考えています。「お客様にとってのNo.1」「最も信頼される企業」に少しでも近づくため、私たちの企業活動を「All for you」という言葉に込め、すべての大切な社会や環境、そして、大切なお客さまのために役立てていけるよう追求しつづけます。



三菱ふそう環境・社会報告書2010について	P.1
トップコミットメント	P.3
三菱ふそうの役割	P.4
Topics 次世代を担う環境対応技術「BlueTec®テクノロジー」	P.5
環境マネジメント	
環境指針	P.7
組織体制	P.8
環境サステナビリティプラン	P.9
ISO14001の取り組み 緊急時対応、環境に関する事故など	P.11
環境会計／環境コミュニケーション	P.12
環境負荷低減への取り組み	
自動車の一生と環境負荷	P.13
開発・設計	P.14
調達	P.18
生産	P.19
物流	P.23
販売	P.25
リサイクル	P.26
社会との関わり	
コンプライアンス	P.27
お客様との関わり	P.29
従業員との関わり	P.33
福祉・社会活動	P.35
地域との関わり	P.36
製作所レポート(2009年度実績)	P.37

「環境・社会報告書2010」の発行にあたり

世界経済危機以降、自動車業界は厳しい経営環境におかれておりましたが、徐々に好転の気配を見せております。業界が経済危機前の水準に回復するにはかなりの時間を要しますが、史上最悪の局面からは立ち直りつつあります。

三菱ふそうは、より競争力があり、また、より持続可能な企業を目指して包括的に企業活動を再編してきました。これは世界的な景気後退や自動車業界における構造的変化に対応するために不可欠であり、そしてこれらイニシアチブを通じて、この先何年もの間、関係する皆さまをサポートできる体制を構築しています。

企業変革は数多くありますが、私たちは常にコンプライアンス遵守の重要性を心がけ、そして経営理念である“All for you”のもと、一貫して私たちの大切なお客さまと社会に貢献してまいりました。

私たちは特に、三菱ふそうの製品と企業活動における環境への影響を減らすことに焦点をあててきました。

地球温暖化への対応につきましては、京都議定書を引き継ぐ新たな温室効果ガス低減の国際的枠組について世界的な議論が続けられています。我が国においても「低炭素社会の実現」へ向けた動きが着実に進められております。

三菱ふそうにおきましても「地球環境保全」を最重要テーマとして「開発」「生産」「販売」「サービス」の各分野をはじめ、全社を挙げた取り組みを続けてまいりました。

具体的には、三菱ふそうはダイムラー・トラックグループのハイブリッド技術の研究開発の核として、川崎市に「グローバル・ハイブリッド・センター」を設立し、ハイブリッドシステム搭載車両の更なる技術革新と普及へ向けた活動を先導しています。ダイムラー・グループ内での更なるシナジー効果を強化しながら、三菱ふそうは地球環境の保全、社会貢献、そして、経営理念の“All for you”を果たすべく積極的に邁進してまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

また、皆様の本報告書に対する率直なご意見・ご感想を頂ければ、幸いです。



三菱ふそうトラック・バス（株）
取締役会長
鈴木 孝男

鈴木孝男



三菱ふそうトラック・バス（株）
代表取締役社長
最高経営責任者（CEO）
アルバート・キルヒマン

Albert Kilhman



FUSOの位置づけ

ダイムラー・トラック部門は、Mercedes-Benz、三菱ふそう (MFTBC)、Freightliner という3つの主要ブランドで構成されています。

すなわち、三菱ふそうは、世界最大のトラックメーカーを構成する一員なのです。



Mercedes-Benz

欧州及び南米、中近東において高性能商用車ブランドとしての存在を不動のものとしている「メルセデス・ベンツ」。その輝かしい歴史を背景に、安全・環境技術において世界の最先端をリードし続けています。



1932年にB46型バス「ふそう」を製造してから七十数年。現在、アジアをはじめとして世界中に認知されるブランドへと躍進。品質・技術・サービスのすべてにおいて「お客様第一」を目指して、走り続けています。



北米において、大中型トラックのリーディングブランドである「フレートライナー」。ダイムラー・トラック部門北米の傘下ブランドとして「ウエスタン・スター」「トーマス・ビルド・バス」「フレートライナー・カスタム・シャシ」「デトロイト・ディーゼル」とともに、高品質の製品・サービスを提供しています。

ダイムラー・トラック部門における三菱ふそうの役割

